国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和８年２月２７日
東北地方整備局

入札監視委員会の審議概要を公表します
（第一部会 第２回定例会議）

令和８年２月３日（火）に東北地方整備局において「令和７年度入札監視委員会（第一部会第２回定例会議）」を開催しました。

審議概要について、別紙のとおりお知らせします。

なお、今回の委員会では、事前に抽出された案件９件の審議を行い、意見の具申や勧告事項はありませんでした。

〔発表記者会〕宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会

【問合わせ先】
国土交通省　東北地方整備局
仙台市青葉区本町３丁目３番１号
ＴＥＬ　０２２－２２５－２１７１（代表）
入札契約監査官　　西村　勝史　（内線：２２２０）

別紙1

東北地方整備局　入札監視委員会（第一部会）　審議概要

開催日及び場所	令和8年2月3日（火）14時00分～16時00分 仙台合同庁舎B棟12階　大会議室			
委　　員	部会長	及川（おいかわ） 雄介（ゆうすけ）	弁護士	
	部会長代理	嘉藤（かとう） 明美（あけみ）	（株）鐘崎　代表取締役社長	
	委員	奥村（おくむら） 誠（まこと）	東北大学　災害科学国際研究所　教授	
	委員	櫻井（さくらい） 康博（やすひろ）	公認会計士、税理士	
審議対象期間	令和7年4月1日～令和7年9月30日			
審議案件	総件数	9件		
	工　　事		6件	審議案件は別紙2のとおり
		一般競争（政府調達）	1件	
		一般競争（政府調達以外）	3件	
		指名競争	1件	
		随意契約	1件	
	建設コンサルタント業務等		2件	
	役務・物品等		1件	
審議における意見・質問、それに対する説明・回答	別紙3のとおり			
委員会による意見の具申または勧告	別紙3のとおり			

別紙2

抽 出 指 定 工 事 等 一 覧

（第2回定例会議：令和8年2月3日（火））

○ 抽出対象期間：令和7年4月1日 ～ 令和7年9月30日

○ 抽出委員名等：及川委員　令和7年11月20日（木）抽出

工事に係る入札方式別抽出案件一覧　　総契約件数‥‥407件

一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事）

番号	工 事 名	工 事 種 別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
①	鳴瀬川ダム迂回路トンネル工事	一般土木工事	14	14	R7.7.24	鉄建建設（株）	1,850,200	92.6	鳴瀬川工事

一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）

番号	工 事 名	工 事 種 別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
②	小砂川IC他舗装工事	アスファルト舗装工事	1	1	R7.7.23	菊地建設（株）	116,050	90.7	秋田
③	能代地区仮桟橋設置工事	一般土木工事	1	1	R7.9.22	（株）佐々木建設工業	244,200	99.9	能代
④	最上川さみだれ大堰3号ゲート等修繕関連工事	一般土木工事	1	1	R7.8.19	（株）長浜建設	280,500	97.3	酒田

指名競争入札方式

番号	工 事 名	工事種別	指名業者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額（単位:千円）	落札率（単位:%）	備　考
⑤	新庄管内交通安全対策工事	一般土木工事	5	4	R7.9.16	（株）柿崎工務所	77,000	92.4	山形

随意契約方式

番号	工 事 名	工 事 種 別			契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
⑥	仙台湾南部海岸亘理沖波高計灯浮標撤去工事	一般土木工事			R7.6.16	（株）橋本店	10,890	100.0	仙台

建設コンサルタント業務等に係る抽出案件一覧　　総契約件数‥‥860件

簡易公募型競争入札方式

番号	業 務 名	業種区分	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額（単位:千円）	落札率（単位:%）	備　考
⑦	津軽道吉見地区橋梁詳細設計業務	土木関係建設コンサルタント業務	13	10	R7.8.26	（株）復建技術コンサルタント	30,833	80.3	青森

簡易公募型プロポーザル方式

番号	業 務 名	業種区分	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	技術提案書の提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額（単位:千円）	落札率（単位:%）	備　考
⑧	鳥海ダム環境影響評価検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	1	1	R7.4.11	鳥海ダム環境影響評価検討業務水源地環境センター・株式会社ドーコン設計共同体	20,306	94.1	鳥海ダム

役務の提供等及び物品の製造等に係る抽出案件一覧　　総契約件数‥‥530件

一般競争

番号	業 務 名	業 務 分 類	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
⑨	レーダ雨量計設備製造据付（西岳）	物品の製造等	1	1	R7.8.28	三菱電機（株）	632,500	99.1	企画部

1．報告

(1) 工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況
(2) 指名停止等の運用状況
(3) 入札談合に関する情報等への対応状況
(4) 再度入札における一位不動状況
(5) 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況
(6) 一者応札の発生状況
(7) 不調・不落の発生状況
(8) 高落札率の発生状況

意見・質問	説明・回答
なし	―

2．審議

抽出案件	意見・質問	説明・回答
①鳴瀬川ダム迂回路トンネル工事	（段階的選抜方式の）追加選抜とは何か。	評価点が上位で選抜された10者に加え、入札参加機会の確保のために、過去における選抜回数が少ない者を選抜している。
②小砂川IC他舗装工事	参加可能業者が53者に対して、参加申請を行ったのは2者のみである。考えられる要因は。	秋田県や管内自治体の河川災害復旧工事が集中していた。今後は地域の発注状況に注視し勘案するとともに、「地域要件の拡大」や「技術者の能力等を求めず企業の能力等のみを評価する方式」など取り組んで参りたい。
	参加資格となる「工事の施工実績」の対象期間が「平成22年4月1日」以降となっているが、基準があるのか。	過去15年として、統一的に運用している。
	（参加申請2者のうち一者は他工事受注のため確認資料未提出のため）一者応札となっているが、競争性が働いているかが問題。参加した者は、他に参加者がいる、いないということは知り得るのか。	知り得ない。
③能代地区仮桟橋設置工事 ※河川内での施工となるため施工期間に制約があり3期に分割しての発注。本工事は2期目。	一者応札となっているが、3期目の発注にあたり、参加者を増やす工夫をどのように考えているか。	施工時期に制約があるので時期を変えることは出来ないが、「技術者の能力等を求めず企業の能力等のみを評価する方式」など取り組んで参りたい。
	今回（2期）の受注者と、1期の受注者は同じ者で、1期工事の継続といった形になっているという認識でよいか。	結果的に同じ者が受注したもの。今回の発注にあたり、継続性を求めたものではない。
④最上川さみだれ大堰3号ゲート等修繕関連工事 ※1～5号まであるゲートのうち、2号、3号ゲートを修繕するための仮締切等を行う工事。1号は修繕済み。	1号ゲートの施工者は今回の受注者か。	同じ者である。
	今回の入札において、参加者を増やすための工夫はあったか。今回、一者応札となっているが、次回への取り組みとして考えているものはあるか。	今回は参加可能業者が52者あり、十分と判断したが結果的に一者応札となった。次回はこれまで以上に業界に説明を行うとともに、参加要件の緩和、「技術者の能力等を求めず企業の能力等のみを評価する方式」など取り組んで参りたい。

2．審議

抽出案件	意見・質問	説明・回答
⑤新庄管内交通安全対策工事	当初不調となった一般競争方式と、今回の指名競争方式では予定価格は異なっているのか。	工事内容は同じとなっており、予定価格は同じ価格となっている。
	一般競争方式での発注では不調となり、今回の指名競争では応札となったのは何故か。	業界団体に確認したところ、一般競争方式で発注した年度当初の時期は他機関も含めて発注が集中していたとのこと。そのため時期を勘案し再発注を行った。 供用の時期が迫っていたため、手続き期間を短縮出来る指名競争方式とした。
	年度当初は、発注が集中しやすい時期なのか。	予算が年度単位でありそのようになるが、できるだけ平準化出来るよう工夫をしているところである。
	発注の時期を平準化するというのは現実的なのか。	業界団体からのピークカットの要望もある。国債や翌債を活用し年度を跨いで平準化に努めている。予算要求段階から工夫している。
⑥仙台湾南部海岸亘理沖波高計灯浮標撤去工事	質問なし	―
⑦津軽道吉見地区橋梁詳細設計業務	参加者の入札価格が似通っているが。	積算基準書等が公表されており、積算精度が高くなっている。
⑧鳥海ダム環境影響評価検討業務	工事では、参加資格となる施工実績の対象期間が過去15年ということであったが、業務は過去10年ということか。	工事は過去15年、業務は過去10年について、実績と認める運用を行っている。
	参加者が一者であるが、本業務が特殊性が強いことが要因か。	環境影響評価法に基づく「報告書の作成・公表」が義務づけられているダム事業は全国で3事業のみであり、実績が少ないため、一者になったと思われる。
⑨レーダ雨量計設備製造据付（西岳）	全国的にみても数が限られた施設であるが、各整備局で発注するのがよいのか、全国分をまとめて発注するのがよいものか。施工出来る者は複数有るのか。	レーダー雨量計は3年程度で整備した経緯もあり、更新のタイミングも全国的に重なっている状況。 A整備局ではa社、B整備局ではb社、C整備局ではc社が受注するなど複数の者が受注しており、複数の者が参加できると考えたところである。

3．委員会による意見の具申または勧告内容

具申または勧告	無し
委員からの意見要望	災害復旧工事の立て込みなどが危惧される場合は、地域要件の緩和など、柔軟な取り組みを検討頂きたい。 また、専門性、難易度が高い案件については、場合によっては広域的視野から入札情報の発信・収集も積極的に取り組んで頂きたい。 今後とも、入札及び契約手続きにおける一層の透明性及び競争性の確保など入札契約業務の厳正な執行を行って頂きたい。